

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	ビジュアルコミュニケーション	
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	なし	開設期	通年
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	45時間
単位数	3単位	授業形態	講義		
教科書/教材	2019年版 ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト				
担当教員情報					
担当教員	武藤 敬子・野口 真依子		実務経験の有無・職種	有・デザイナー	
学習目的					
将来社会で活躍するための基礎的な社会性やコミュニケーション能力などを養うことを授業の目的とする。まずは社会で仕事をしていく上での基礎知識やマナーなどを学習し、さらにクリエイターとして社会に関わるることについて学習する。学習した内容を成果として残すために検定試験を実施し、合格することを目指す。また、後半はクリエイターとしての核となる自身の企画やビジュアル表現についてその意図や魅力などを他者に説明できるようになることを目的とする。					
到達目標					
上記の学習目的を踏まえて前半では基礎的な社会人スキルを学ぶと共に小テストを重ねて「ビジネス能力検定3級」に合格する。座学や演習を中心としたビジネス会話や文章、知識面などにおける基本的なビジネス能力を向上させる。以上のスキルを活かし、後半ではコンテンツの企画を立案し、適切なビジネススキルを持って相手とコミュニケーションをとれるようになる。					
教育方法等					
授業概要	個人ワークやグループワークを採り入れる。前半の検定試験対策では教科書と小テスト用のプリントを使用する。後半の授業ではレポートや企画書などを交えて何度か発表を実施する。これによりビジュアルを使用したコミュニケーションスキルを向上させる。授業の一部で校外実習を実施するが、天候やその他の理由により中止とする場合がある。				
注意点	検定対策の授業では教科書を毎回持参すること。グループでの企画制作も実施するが、その際の企画会議では周囲の妨げにならないように注意すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	検定対策試験や課題の提出結果を総合的に評価する		
	小テスト	20%	検定対策用の小テストを評価する		
	レポート	10%	校外学習でのレポートを総合的に評価する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	企画の発表を総合的に評価する		
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	導入（社会とクリエイターとの関わり）		授業の概要とコミュニケーションの重要性を理解する		
2回	社会人基礎学習(1)		クリエイターとしての将来設計、業界研究などを学習する		
3回	社会人基礎学習(2)(検定対策講座)		社会で活躍するためのビジネス基礎を学習する		
4回	社会人基礎学習(3)(検定対策講座)		社会で活躍するためのビジネス基礎を学習する		
5回	社会人基礎学習(4)(検定対策講座)		社会で活躍するためのビジネス基礎を学習する		
6回	社会人基礎学習(5)(検定対策講座)		社会で活躍するためのビジネス基礎を学習する		
7回	検定試験直前対策		検定試験の直前対策講座を実施する		
8回	校外学習(1)(レポート用事前学習)		エンターテインメントに携わる企業や施設が実施している取り組みについて学習する		
9回	校外学習(2)(レポート提出)		エンターテインメントに携わる企業や施設が実施している取り組みについて学習する		
10回	コミュニケーション(1)(企画について)		商品企画について学習する		
11回	コミュニケーション(2)(企画について)		商品企画について学習し、発表する		
12回	コミュニケーション(3)(企画について)		イベント業務(企画運営)に関するグループワークを実施する		
13回	コミュニケーション(4)(企画について)		イベント業務(企画運営)に関するグループワークを実施する		
14回	コミュニケーション(5)(企画について)		イベント業務(企画運営)に関するグループワークを実施する		
15回	まとめ		イベント業務(企画運営)に関するグループワーク行い、発表する		